

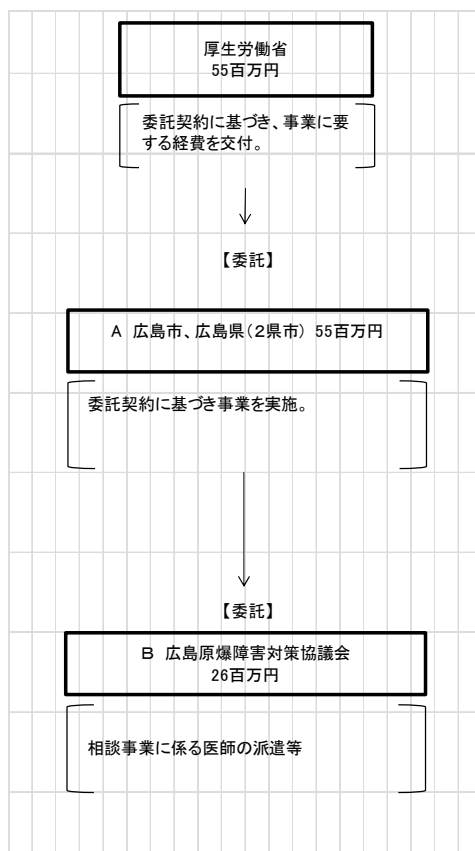
平成27年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )

<b>事業名</b>	広島原爆黒い雨体験者に対する相談支援事業			<b>担当部局庁</b>	健康局		<b>作成責任者</b>	
<b>事業開始年度</b>	平成25年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	終了予定なし	<b>担当課室</b>	総務課指導調査室		総務課指導調査室 小野 清喜	
<b>会計区分</b>	一般会計			<b>政策・施策名</b>	I-5-4 原子爆弾被爆者等を援護すること			
<b>根拠法令 (具体的な 条項も記載)</b>	-			<b>関係する計画、 通知等</b>	平成27年3月30日健発0330第20号 「平成27年度広島原爆黒い雨体験者に対する相談支援事業実施要綱」			
<b>主要政策・施策</b>				<b>主要経費</b>	社会保障			
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	広島原爆による黒い雨を体験したと訴える方々に対する相談支援事業を実施し、不安軽減を図ることにより、その症状の改善等の向上を図ることを目的とする。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	広島原爆体験者に対する不安軽減事業 対象者：広島原爆により黒い雨を体験したと訴える方 事業：(1)保健所、市町村保健センター等で、保健師等による個別面談を通じた継続的な保健指導と健康教育等を実施 (2)健康不安を訴える方に対して専門医によるケアの実施							
<b>実施方法</b>	委託・請負							
<b>予算額・ 執行額 (単位：百万円)</b>	<b>予算 の 状 況</b>	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
		当初予算	-	46	64	63	62	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
	計	0	46	64	63	62		
	執行額	-	45	55				
執行率 (%)	-	98%	86%					
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	<b>定量的な成果目標</b>	<b>成果指標</b>		<b>単位</b>	24年度	25年度	26年度	<b>目標最終年度 毎年度</b>
	広島原爆による黒い雨を体験したと訴える方々に対する不安軽減を図るため、常設相談窓口及び巡回相談会により、その症状の改善等を図ることを目的としており、すべての相談者の不安軽減を目標とする。	成果実績は、相談後のアンケートの結果、不安が軽減されたと回答した相談者の割合	成果実績	%	-	68	69	
			目標値	%	-	100	100	100
			達成度	%	-	68%	69%	
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	<b>活動指標</b>		<b>単位</b>	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	広島県市における相談会開催回数 (常設窓口は含まず)	活動実績	回	-	15	13		
		当初見込み	回	-	11	17	10	
<b>単位当たり コスト</b>	<b>算出根拠</b>		<b>単位</b>	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	<b>単位当たりコスト = X / Y</b>		千円	-	3,000	4,154	6,300	
	<b>X:「予算執行額(百万円)」 Y:「相談会開催件数(回)」</b>		計算式	X / Y	-	45/15	54/13	63/10
<b>平成27・28年度 予算内訳 (単位：百万円)</b>	<b>費目</b>	27年度当初予算	28年度要求	<b>主な増減理由</b>				
	委託費	63	62					
	計	63	62					

事業所管部局による点検・改善			
項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○ 事業目的(広島原爆による黒い雨を体験したと訴える方々に対する不安軽減を図ることにより、その症状の改善等の向上を図ること)を考慮すると、重要性の観点から国費を投入すべき事業である。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○ 目的(広島原爆による黒い雨を体験したと訴える方々に対する不安軽減を図ることにより、その症状の改善等の向上を図ること)を考慮すると、国が実施すべき事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○ 広島原爆による黒い雨を体験したと訴える方々に対する不安軽減を図ることにより、その症状の改善を図ることを目的としており、優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-
	単当たりコスト等の水準は妥当か。		○ 常設窓口の設置、巡回相談会の開催に必要な契約をおこなっており、単当たりコストは妥当である。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○ 当該事業を実施する上で必要な経費(相談支援事業費、相談員に対する研修事業費、協議会経費)に限定されている。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○ 当該事業を実施する上で必要な経費(相談支援事業費、相談員に対する研修事業費、協議会経費)に限定されている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○ 健康診断自己負担分の助成について、予定を下回ったため。
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○ 相談希望者の利便性も考え、27年度からは、巡回相談の他、地区訪問相談などの新規メニューの導入を予定している。
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○ 相談事業利用者の不安軽減率は約70%と一定の成果を上げている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		△ 巡回相談会の開催は見込を下回っているものの、その他常設窓口での相談など、相談事業自体は適切に実施されている。
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○ 広島原爆による黒い雨を体験したと訴える方々に対する不安軽減を図ることに活用されている。
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名
点検・改善結果	点検結果	相談された方のアンケート調査で、約7割の方が「不安が完全になくなった」又は「不安が多少なくなった」と回答しており、事業実施の効果ができていると考えられる。	
	改善の方向性	27年度からは、一定の会場で行う巡回相談会の開催だけでなく、地区訪問相談会の開催を予定するなど、高齢化が進む利用者の利便性向上のための改善を図っているところである。28年度予算の要求に当たっても、引き続き事業の充実、効率性の向上をはかり適正な規模の予算確保に努める。	
外部有識者の所見			
点検対象外			
行政事業レビュー推進チームの所見			
現状通り	点検結果も妥当であり、広島原爆体験者に対する不安軽減に寄与する事業であることから、引き続き、必要な予算額を確保するとともに、適正な執行を行うこと。		
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
現状通り			
備考			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年度	-	平成23年度	-
平成25年度	25新-011	平成26年度	180

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)



**費目・使途**  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.広島市			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託料	医師派遣調整等業務委託料	26			
賃金	臨時職員賃金	6			
消耗品等	利用申請書印刷等	3			
扶助費	健康診断費用の助成	2			
旅費・報償費	専門家招聘等	1			
通信運搬費	切手等	1			
計		39	計		0
B.広島原爆障害対策協議会			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託料	医師、臨床心理士の派遣調整等	26			
計		26	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	広島市	広島原爆黒い雨体験者相談支援事業の実施	39	—	—
2	広島県	広島原爆黒い雨体験者相談支援事業の実施	15	—	—

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	広島原爆対策協議会	医師、臨床心理士の派遣調整等	26	随意契約	—